



設備BOX・ 見積TOOL製品ガイド

～ *Making Estimations* ～



 ハノ・テック株式会社

<http://www.hanotech.co.jp/>

目 次

基本システム

1. 開発コンセプト	1
2. システム関連図	2
3. 見積作成手順	3
4. LAN環境での使用	4
5. 見積階層構造	5
6. 多彩なシミュレーション機能	6
<6-1> 見積単価・見積数量の率検討	7
<6-2> 提出金額の頭合わせ	8
<6-3> 見積原価の逆シミュレーション機能	9
7. 単価データの自動更新	10
8. 見積T00L専用機能	
<8-1> 材料-配管入力	11
<8-2> 材料-ダクト・チャンバー入力	12
9. 多彩な入力方法	
<9-1> マスタからの一括入力	13
<9-2> 材料一覧表入力	14
<9-3> コード番号による入力	15
<9-4> ダイレクト入力	15
<9-5> エクセルからの貼り付け機能	16
10. 自由自在な編集機能	17
11. ユーザー特有の設定	18~20
12. エクセルからのマスタデータ入出力機能	21
13. 見積原価比較機能	22

オプション機能

1. 複合単価作成機能	23
2. 拾い出し機能	24
3. メニューシート	25
4. テンプレート機能	26
5. 見積情報拡張機能	27
6. エクセル自動変換機能	28
7. CI-NET入出力機能	29

目 次

印刷サンプル

- 1. A 4 横見積書サンプル
 - 2. A 4 横見積書サンプル（鑑・総括一体形）
 - 3. A 4 縦見積書サンプル
 - 4. A 4 縦見積書サンプル（鑑・総括一体形）
 - 5. A 4 縦請求書サンプル
 - 6. 原価計算書
 - ※ 上記帳票のレイアウトは全て自由に変更可能です。
 - 7. 複合単価計算書（オプション機能搭載時）
 - 8. 業者別値入一覧表
 - 9. 材料別集計表
 - 10. 工事項目別原価集計表
 - 11. 工事項目別見積集計表
 - 12. 工事項目別工数集計表
 - 13. 見積査定表
 - ※ 上記帳票の印刷アイテムを自由に選択可能です。
-
-

設備BOX・見積TOOLは、効率アップだけでなく、更なる付加価値を求めて開発されています。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ★ 簡単操作で効率アップ | ★ 自由レイアウトが可能な見積書 |
| ★ 見積原価と利益金額の把握 | ★ 豊富な集計機能と帳票群 |
| ★ 個人差をなくし、積算業務の標準化を図る | ★ 充実したシミュレーション機能で利益の確保 |
| ★ 容易なメンテナンス | ★ LAN対応で業務の分担作業を実現 |

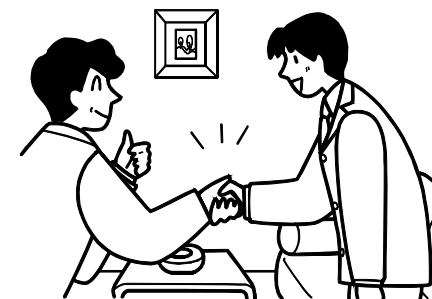
◇ 受注に結びつく見積書作成

◎ 個性と説得力のある見積書

受注に結びつけるために、提出する見積書は各社の個性を生かし、説得力のある見積書とするために、見積書フォームを自由にレイアウトできるようにしました。

◎ 交渉に即答するために

見積書提出後には、必ずといっていいほど交渉があるはずです。その交渉の場で即答するために必要となる様々な資料・帳票類を充実させました。

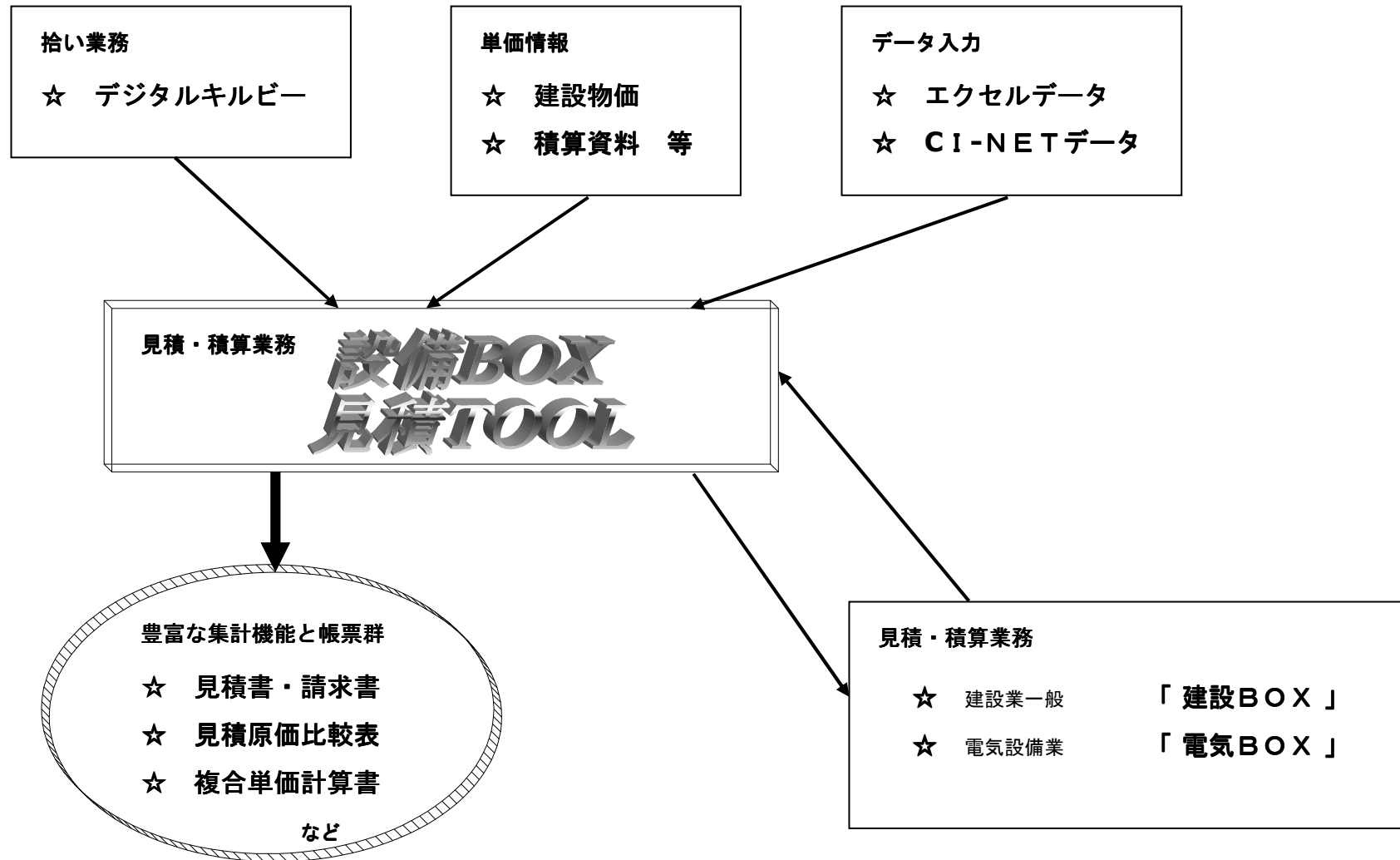


◇ 「空調・衛生設備業専用」でありながら「専用ソフト」を意識させない

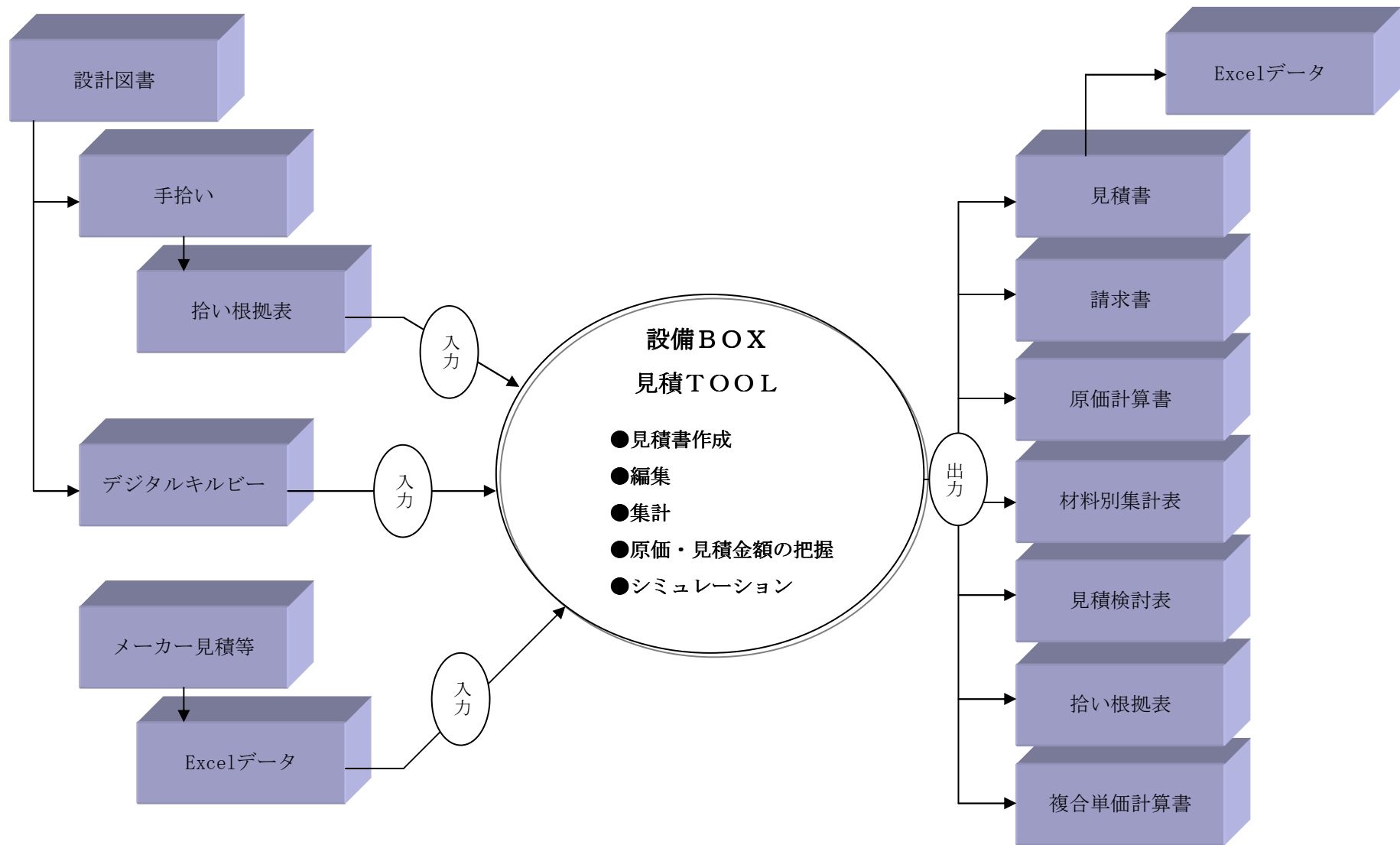
「専用ソフト」と謳われているものの多くは、その業種・業務に特化することばかりにコンセプトの主眼がいきがちで、いざ導入してみると規定の操作手順に従わなければならなかったり、思い通りの見積書に仕上げられなかったりという問題が見られます。

設備BOX・見積TOOLは、手書き感覚で思い通りの見積書を作ることができ、更にその上で、「空調・衛生設備業特有の機能」を使用できるように開発しています。

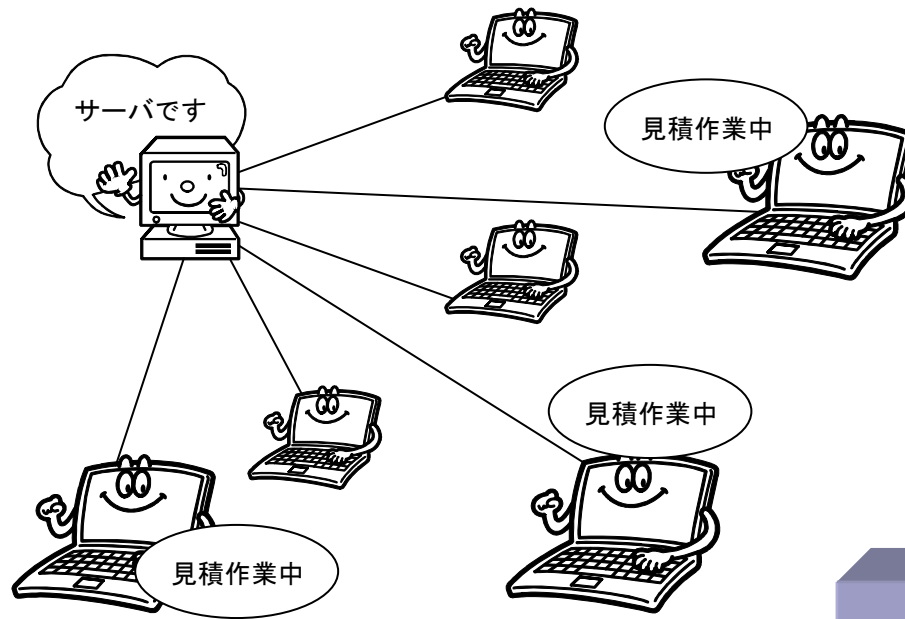
システム関連図



見積作成手順



LANで接続されたすべてのコンピュータで使用可能です。



上記イラストの例では、LANで接続された6台のクライアントすべてで見積作業をすることができます。

ご契約時に、同時起動システム数を指定していただきます（上記のイラストでは3本の同時使用が可能です）。

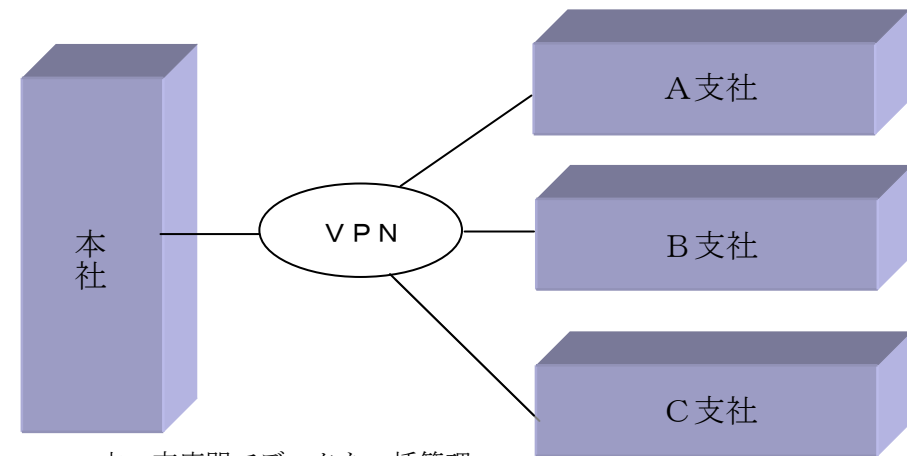
LANで接続されたすべてのパソコンで 사용할 ことができます。（同時使用できる本数の上限をご契約いただきます。）

この使用方法的利点としては...

- ① 社内のどこでも見積作業をすることができる
- ② データを一括管理できる
- ③ 同時使用本数でのご契約なので、イニシャルコストを抑えられる

といった利点があげられます。

また、VPNを使用することで、本・支店間のデータの一元化にも対応することができます。



本・支店間でデータを一括管理

見積階層構造

見積階層は、最大で**10階層**まで対応。工事項目数は無制限に作成可能。

空調・衛生設備業の見積書には欠かすことのできない階層構造の見積書を作成します。

このようにして作成された見積書の印刷イメージも、様々な形に設定可能です。

例1) 総括書・総括明細書・内訳書を使って印刷。

例2) 総括書に細かな階層も表現して、総括明細書を使用しない。

例3) 工事項目番号を使わずに、インデントによって階層構造を表現する。

上記以外にも様々な設定を可能にしておりますので、ご要望に沿った見積書を作成することができます。

工事項目番号設定

2階層
1階層目
2階層目

3階層
1階層目
2階層目
3階層目

4階層
1階層目
2階層目
3階層目
4階層目

5階層
1階層目
2階層目
3階層目
4階層目
5階層目

6階層以上
1階層目
2階層目
3階層目
4階層目
5階層目
6階層以上

OK キャンセル ヘルプ

見積TOOL

新規 既存 上書き保存 名付保存 情報 呼出コード 挿入 削除 項目 材料 設備 系統 配管 開く 印刷 拾い 計算 読み 印刷

名称未入力! [標準]

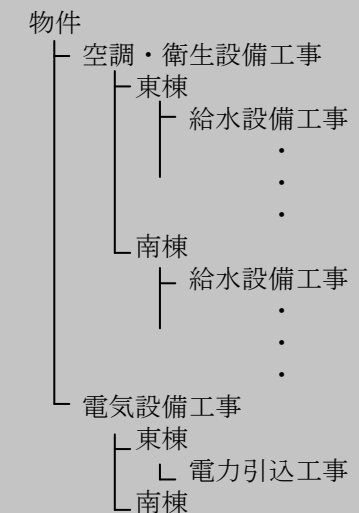
番号	名称	仕様	施工区分	原数量	単位	標準単価	標準金額	歩
1	給水設備工事			1	式		0	
2	排水設備工事			1	式		0	
3	小計						0	

工事項目リスト

コード	名称	仕様
10	屋内排水設備工事	
11	屋外排水設備工事	
12	衛生器具設備工事	
13	消火設備工事	
14	屋内消火栓設備工事	
15	連結排水管設備工事	
16	スプリンクラー設備工事	
17	二酸化炭素消火設備工事	
18	ガス設備工事	
19	セトスカーター設備工事	
20	浄化槽設備工事	

階層ごとの工事項目番号は、あらかじめ設定しておくことで、自動的に付番されます。

電気BOX・建設BOXとの
見積合併も可能です。



多彩なシミュレーション機能

見積書全体の材料や労務費・経費を分類別に集計し、金額の検討・シミュレーションが可能です。

見積（提出）金額を直接入力することはもちろん、「数量検討率」「単価検討率」を変更することで、見積（提出）金額を算出します。

分類名称・経費名称	見積金額	数量検討率	単価検討率	材料単価・原価率	原価	標準金額	利益金額	利益率	原数量	見積数量	原工率
1管 関係	¥2,645,086	1.000	1.100	1.100	¥2,645,086	¥2,405,125	¥0	0.00%	2,505	2,505	0.0
2井 関係	¥426,627	1.000	1.100	1.000	¥387,400	¥387,400	¥39,227	9.19%	37	37	0.0
14冷凍機	¥13,999	1.000	1.050	1.000	¥13,330	¥13,330	¥668	4.77%	3	3	0.0
16手リングユニット	¥22,000	1.000	1.050	1.000	¥20,630	¥20,630	¥1,370	6.23%	1	1	5.2
17空気熱源ヒートポンプ	¥59,000	1.000	1.050	1.000	¥56,170	¥56,170	¥2,830	4.80%	1	1	0.0
19空気調和機設備(工費)	¥108,937	1.000	1.050	1.000	¥103,740	¥103,740	¥5,197	4.77%	38	38	90.7
21矩形ダクト	¥859,000	1.000	1.050	1.000	¥825,010	¥825,010	¥33,990	5.06%	11	11	0.0
22チャンパー	¥156,000	1.000	1.050	1.000	¥148,800	¥148,800	¥7,200	4.62%	1	1	0.0
24吸出口箱	¥495,000	1.000	1.050	1.000	¥471,000	¥471,000	¥24,000	4.85%	1	1	0.0
25吸込口箱	¥586,600	1.000	1.100	1.000	¥535,000	¥535,000	¥51,600	9.50%	6	6	0.0
34パイプフード	¥1,361,733	1.000	1.100	1.000	¥1,237,820	¥1,237,820	¥123,913	9.10%	202	202	0.0
35排煙口	¥195,000	1.000	1.100	1.000	¥177,000	¥177,000	¥18,000	9.23%	2	2	0.0
37衛生器具設備	¥3,312,138	1.000	0.100	0.996	¥2,999,774	¥3,010,430	¥312,364	9.43%	123	123	0.0
45消火設備	¥1,260,000	1.000	1.050	1.000	¥1,200,000	¥1,200,000	¥60,000	4.76%	1	1	0.0
500◆ダイキン製品 5C	¥5,292,180	1.000	0.501	0.351	¥3,703,760	¥10,565,200	¥1,588,420	30.01%	18	18	0.0
700◆ダイキン製品 F	¥615,455	1.000	0.117	0.941	¥518,660	¥551,200	¥96,795	15.73%	556	556	0.0
小計	¥17,419,754	*	*	0.693	¥15,044,180	¥21,707,955	¥2,375,574	13.6%	3,536	3,536	96.0
同上掘手材	1,134,518	1.000	0.100	1.100	1,134,761	1,031,444	-243	-0.02%			
同上接合材	138,135	1.000	0.092	1.100	139,160	126,493	-1,025	-0.74%			
同上支持材	266,798	1.000	0.104	1.100	265,890	241,671	-908	0.34%			
配管工費	4,724,000	1.000	0.000	1.000	4,724,346	4,724,346	-346	-0.01%			
保温工事	5,910,000	1.000	0.000	1.000	5,910,180	5,910,180	-180	-0.00%			
塗装工事	750,000	1.000	0.999	1.000	750,935	750,935	-935	-0.11%			
消耗品及雑材料	1,145,795	1.000	0.048	1.048	1,145,650	1,093,501	145	0.01%			

原価を把握することによって「攻めの営業」を可能にします。

原価率のシミュレーションを行うことによって、原価を細かく把握できます。

利益率や利益金額から見積金額を逆算可能。

材料ごと・分類ごとに利益率や利益金額を変化させることもできます。

見積単価・見積数量の率検計

見積単価・見積数量を掛け率で検計・シミュレーションします。

①見積金額 ②数量検計率 ③単価検計率 ④標準金額

* 分類名称・経費名称	見積金額	数量検計率	単価検計率	対標準金額-原価率	原価	標準金額	利益金額	利益率	原数量	見積数量	原工率
1.管 関係	¥2,646,086	1.000	1.100	1.100	¥2,646,086	¥2,405,125	¥0	0.00%	2,505	2,505	0.0
2.井 関係	¥426,627	1.000	1.100	1.000	¥387,400	¥387,400	¥39,227	9.19%	37	37	0.0
14.冷凍機	¥13,998	1.000	1.050	1.000	¥13,330	¥13,330	¥668	4.77%	3	3	0.0
16.手リングユニット	¥22,000	1.000	1.050	1.000	¥20,630	¥20,630	¥1,370	6.23%	1	1	5.2
17.空気熱源ヒートポンプ	¥59,000	1.000	1.050	1.000	¥56,170	¥56,170	¥2,830	4.80%	1	1	0.0
19.空調調和機設備(エア)	¥108,937	1.000	1.050	1.000	¥103,740	¥103,740	¥5,197	4.77%	38	38	90.7
21.矩形ダクト	¥869,000	1.000	1.050	1.000	¥825,010	¥825,010	¥43,990	5.06%	11	11	0.0
22.チャンバー	¥156,000	1.000	1.050	1.000	¥148,800	¥148,800	¥7,200	4.62%	1	1	0.0
24.吹出口類	¥495,000	1.000	1.050	1.000	¥471,000	¥471,000	¥24,000	4.85%	1	1	0.0
25.吸込口類	¥586,600	1.000	1.100	1.000	¥535,000	¥535,000	¥51,600	8.80%	6	6	0.0
34.パイプフード	¥1,361,733	1.000	1.100	1.000	¥1,237,820	¥1,237,820	¥123,913	9.10%	202	202	0.0
35.排煙口	¥195,000	1.000	1.100	1.000	¥177,000	¥177,000	¥18,000	9.23%	2	2	0.0
37.衛生器具設備	¥3,312,138	1.000	(1.100)	0.996	¥2,999,774	¥3,010,430	¥312,364	9.43%	123	123	0.0
45.消火設備	¥1,260,000	1.000	1.050	1.000	¥1,200,000	¥1,200,000	¥60,000	4.76%	1	1	0.0
500.◆ ダイキン製品 5C	¥5,292,180	1.000	(0.501)	0.351	¥3,703,760	¥10,565,200	¥1,588,420	30.01%	18	18	0.0
700.◆ ダイキン製品 F	¥615,455	1.000	(1.117)	0.941	¥518,660	¥551,200	¥96,795	15.73%	556	556	0.0
小計	¥17,419,754	*	*	0.693	¥15,044,180	¥21,707,855	¥2,375,574	13.64%	3,506	3,506	96.0
同上継手材	1,134,518	1.000	(1.100)	1.100	1,134,761	1,031,444	-243	-0.02%			
同上接合材	138,135	1.000	(1.092)	1.100	139,160	126,493	-1,025	-0.74%			
同上支持材	266,798	1.000	(1.104)	1.100	265,890	241,671	908	0.34%			
配管工費	4,724,000	1.000	(1.000)	1.000	4,724,346	4,724,346	-346	-0.01%			
保温工事	5,910,000	1.000	(1.000)	1.000	5,910,180	5,910,180	-180	-0.00%			
塗装工事	750,000	1.000	(0.999)	1.000	750,835	750,835	-835	-0.11%			
消耗品及雑材料	1,145,795	1.048	(1.048)	1.048	1,145,650	1,093,501	145	0.01%			

「数量検計率 (②)」は、見積書作成時に入力した原数量 (拾い数量) に対する率です。B材など数量を増やすことで利幅を見込めるものに有効です。

「単価検計率 (③)」は、「標準金額 (④)」に対する率です。A材は、見積書作成時に定価を入力しておくことで、定価に対する率計算が可能です。また、B材は原価を入力しておくことで原価に対する率計算ができます。

このシミュレーションは何度でも行うことができるので、それぞれの検計率を変化させることで「利益金額」「利益率」などを把握して検討することができます。



提出金額の頭合わせ

見積書の総合計金額から逆算します。

①見積合計金額

②チェックボックス

見積書													
新規 既存 上書保存 名付保存 情報 呼出コード 挿入 削除 項目 材料 経費 系統 種類 開く 見積 拾い 計算 拾い 印刷													
VHHouston\PRODUCTS\Sales\TOOL : AAAA\PL\工事 - 見積													
*	分類名称-経費名称	見積金額	数量検討率	単価検討率	材料標準金額-原価率	原価	標準金額	利益金額	利益率	原数量	見積数量	原工率	
+	37衛生器具設備	¥3,312,438	☒	1.000 (1.100)	0.996	¥2,999,774	¥3,010,430	¥312,364	9.43%	123	123	0.0	
+	45消火設備	¥1,260,000	☒	1.000 1.050	1.000	¥1,200,000	¥1,200,000	¥60,000	4.76%	1	1	0.0	
+	500 ◆ ダイキン製品 5C	¥5,292,180	☒	1.000 (0.501)	0.351	¥3,703,760	¥10,565,200	¥1,589,420	30.01%	18	18	0.0	
+	700 ◆ ダイキン製品 F	¥615,455	☒	1.000 (1.117)	0.941	¥518,660	¥551,200	¥96,795	15.73%	556	556	0.0	
	小計	¥17,419,754		*	0.693	¥15,044,180	¥21,707,855	¥2,375,574	13.64%	3,506	3,506	96.0	
	同上継手材	1,134,518	☒	(1.100)	1.100	1,134,761	1,031,444	-243	-0.02%				
	同上接合材	139,135	☒	(1.092)	1.100	139,160	126,493	-1,025	-0.74%				
	同上支持材	266,798	☒	(1.104)	1.100	265,890	241,671	908	0.34%				
	配管工事	4,724,000	☒	(1.000)	1.000	4,724,346	4,724,346	-346	-0.01%				
	保温工事	5,910,000	☒	(1.000)	1.000	5,910,180	5,910,180	-180	-0.00%				
	塗装工事	750,000	☒	(0.999)	1.000	750,835	750,835	-835	-0.11%				
	消耗品及雑材料	1,145,795	☒	(1.048)	1.048	1,145,650	1,093,501	145	0.01%				
	器具取付費	770,000	☒	(0.969)	0.971	700,812	804,195	78,188	10.04%				
	器具調整費	42,000	☒	(1.000)	0.950	44,650	47,000	2,350	5.00%				
	養生費	117,000	☒	(1.000)	0.900	105,300	117,000	11,700	10.00%				
	運搬費	393,000	☒	(1.004)	0.955	378,687	396,569	19,313	4.85%				
	現場雑費	669,000	☒	(1.004)	1.005	669,676	666,237	-676	-0.10%				
	諸経費	944,000	☒	(1.005)	1.005	904,063	899,419	-63	-0.01%				
	防食工事	682,000	☒	(1.000)	1.000	681,980	681,980	20	0.00%				
	冷暖充填費	87,000	☒	(1.000)	0.950	82,650	87,000	4,350	5.00%				
	スリーブ及インサート費	130,000	☒	(1.000)	0.950	123,500	130,000	6,500	5.00%				
	新し及び修繕費	90,000	☒	(1.000)	0.950	85,500	90,000	4,500	5.00%				
	配管試験費	38,000	☒	(1.000)	0.950	36,100	38,000	1,900	5.00%				
	合計	¥35,430,000		*	0.833	¥32,927,920	¥39,543,725	¥2,502,080	7.06%	3,572	3,572	96.0	

「見積金額 (①)」の最下部 (合計欄) がこの見積書の頭金額です。

ここに直接金額を入力することで、見積書全体を逆算して、入力した金額が合計になるような見積書を作成します。

この逆算時に変更を許可する分類と変更を許可しない分類を「チェックボックス (②)」で選択することができます。

この機能を使うことで「材料以外を調整してこの金額にしたい」といったご要望を実現します。

このシミュレーションは何度でも行うことができるので、頭金額を変化させることで「利益金額」「利益率」などを把握して検討することができます。



見積原価の逆シミュレーション機能

合計金額を指定されて受注しなければならない場合は、原価を逆算します。

①見積合計金額

②チェックボックス

③対標準金額原価率

見積TOOL													
新規 既存 上書保存 名付保存 情報 挿入 削除 項目 材料 経費 系統 雛形 開く 見積 拾い 計算 拾い 印刷													
■ 新Houston#PRODUCTS#Sales#TOOL : AAAAAビル新築工事 - 見積検討													
*	分類名称・経費名称	見積金額	数量検討率	単価検討率	対標準金額-原価率	原価	標準金額	利益金額	利益率	原数量	見積数量	原工率	
+	37衛生器具設備	¥3,321,138	☒	1.000	(1.100)	0.996	¥2,999,774	¥3,010,430	¥312,364	9.43%	123	123	0.0
+	45消火設備	¥1,240,000	☒	1.000	1.050	1.000	¥1,200,000	¥1,200,000	¥60,000	4.76%	1	1	0.0
+	500◆ダイキン製品 EC	¥5,292,180	☒	1.000	(0.501)	0.351	¥3,703,760	¥10,565,200	¥1,588,420	30.01%	18	18	0.0
+	700◆ダイキン製品 F	¥6,545	☒	1.000	(1.117)	0.941	¥518,660	¥551,200	¥96,795	15.73%	556	556	0.0
	小計	¥17,419,754	☒	*	*	0.693	¥15,044,180	¥21,707,855	¥23,755,574	13.64%	3,506	3,506	96.0
	同上継手材	1,134,518	☒	(1.100)	1.100	1,134,761	1,031,444	-243	-0.02%				
	同上接合材	138,135	☒	(1.092)	1.100	139,160	126,493	-1,025	-0.74%				
	同上支持材	236,798	☒	(1.104)	1.100	265,890	241,671	908	0.34%				
	配管工費	4,724,000	☒	(1.000)	1.000	4,724,346	4,724,346	-346	-0.01%				
	保温工事	5,910,000	☒	(1.000)	1.000	5,910,180	5,910,180	-180	-0.00%				
	塗装工事	750,000	☒	(0.999)	1.000	750,835	750,835	-835	-0.11%				
	消耗品及雑材料	1,145,795	☒	(1.048)	1.048	1,145,650	1,093,501	145	0.01%				
	器具取付費	79,000	☒	(0.969)	0.871	700,812	804,195	78,188	10.04%				
	器具調整費	47,000	☒	(1.000)	0.950	44,650	47,000	2,350	5.00%				
	養生費	117,000	☒	(1.000)	0.900	105,300	117,000	11,700	10.00%				
	運搬費	398,000	☒	(1.004)	0.955	378,687	396,569	19,313	4.85%				
	現場雑費	69,000	☒	(1.004)	1.005	669,676	666,237	-676	-0.10%				
	諸経費	904,000	☒	(1.005)	1.005	904,063	899,419	-63	-0.01%				
	防食工事	682,000	☒	(1.000)	1.000	681,980	681,980	20	0.00%				
	冷媒充填費	87,000	☒	(1.000)	0.950	82,650	87,000	4,350	5.00%				
	スリーブ及インサート費	130,000	☒	(1.000)	0.950	123,500	130,000	6,500	5.00%				
	研削及板補修費	9,000	☒	(1.000)	0.950	85,500	90,000	4,500	5.00%				
	配管試験費	38,000	☒	(1.000)	0.950	36,100	38,000	1,900	5.00%				
	合計	¥35,430,000	☒	*	*	0.833	¥32,927,920	¥39,543,725	¥2,502,080	7.06%	3,572	3,572	96.0

日々の業務の中には、合計金額を指定されてしまう場合もあります。このような状況では原価を下げて利益を取るしか方法はありません。

「チェックボックス (②)」すべてにチェックをつけて「見積合計金額 (①)」に指定金額を入力することで、「指定された金額で工事を行うにはどの分類に赤字があるのか」をつかむことができます。その分類の「対標準金額原価率 (③)」を下げることで原価を逆シミュレーションして、「いくらで仕入れれば利益が出るか」を把握することができます。

このシミュレーションは何度でも行うことができるので、頭金額を変化させることで「利益金額」「利益率」などを把握して検討することができます。



建設物価や積算資料の材料単価データを取り込む機能

材料マスタの単価コードに各社から出されている材料データのコードを対応させることにより、材料単価を自動的に取り込むことが可能です。

読み込めるファイルの種類

- ◎ 経済調査会 積算資料<名称漢字・固定長>
- ◎ 経済調査会 積算資料<名称なし・固定長>
- ◎ 経済調査会 積算資料<名称漢字・CSV>
- ◎ 経済調査会 積算資料<名称なし・CSV >
- ◎ 建設物価調査会<名称漢字・固定長>
- ◎ 建設物価調査会<名称なし・固定長>
- ◎ 建設物価調査会<名称漢字・CSV >
- ◎ 建設物価調査会<名称なし・CSV >

データを取り込む時に、単価に掛け率を掛けたり、管類などのように本変換したい場合に定尺で割ることも可能です。

単価データをエクセルで全て読み込み、設備BOX・見積TOOLの材料フィールドへ加工することにより、全データを取り込むことも可能です。

見積T00L専用機能（材料-配管入力）

配管の保温や塗装など細かく自動計算できます。

管材の種類や口径だけでなく流体や施工区分、保温材や保温厚などを選択することで、管材の単価や配管工費はもとより、保温単価や塗装・防食単価を算出します。

さらに、全ての選択を1画面にまとめたことによって、同じ材料の口径違いなども、次々に入力することが可能です。

流体(R):	管材(N):	口径(P):	施工区分(M):
給水	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 PA	15A	屋内隠蔽
排水	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 PB	20A	コンクリート埋設
給湯	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 PD	25A	暗渠
消火	フランジ付ポリエチレン粉体ライニング鋼管 FPA	32A	屋外埋設
	フランジ付ポリエチレン粉体ライニング鋼管 FPB	40A	屋外露出
	フランジ付ポリエチレン粉体ライニング鋼管 FPD	50A	屋内露出
ブロン	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 VA	65A	機械室
温水	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 VB	80A	
給水井	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 VD	100A	
蒸気	フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 FVA	125A	
蒸気(高圧)	フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 FVB	150A	
蒸気(低圧)	フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 FVD		
蒸気還管	給湯用塩化ビニルライニング鋼管 G-VA	6.35+ 9.52	
蒸気給気	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管ハウジング VA	6.35+12.7	
通気	消火用ポリエチレン外面被覆鋼管 PS	6.35+15.88	
膨張	消火用ポリエチレン外面被覆鋼管 STPG-PS	6.4	
油	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 VS		
冷温水			

保温材(H):	保温仕上材(G):	保温厚(T):	塗装・防食・その他(P):
ALKグラスウール24K	亀甲金網	25mm	鋼管/錆止 1回
グラスウール保温筒	アルミガラスクロステープ	20mm	鋼管/OP 2回
PPチューブ	アルミニウム板	30mm	鋼管/錆止 1回・OP 2回
ポリスチレンフォーム保温筒	アルミハイテープ	40mm	鋼管/目止 1回・OP 2回 防露
ロックウール保温筒	アルミホイルペーパー	50mm	鋼管/目止 1回・OP 2回 保冷
ビーズ法ポリスチレンフォーム保温筒	カラー亜鉛鉄板		亜鉛鉄板/ウレタンプライマー 1回・OP 2回
	ステンレス		亜鉛鉄板/ウレタンプライマー 1回・OP 2回
	亜鉛鉄板		鋼管/目止 1回・OP 2回 冷媒
	着色亜鉛鉄板		亜鉛鉄板/ウレタンプライマー 1回・OP 2回
	綿テープ		アスファルトシュートテープ
	アスファルトシュートテープ・アスファルトプライマー		ペトロラタム系テープ
	アスファルトフェルト・綿テープ		ブチルゴム系防食テープ
	アスファルトフェルト・アルミガラスクロステープ		プラスチックテープ
	アスファルトルーフィング・アスファルトシュートテープ		鉛板 20mm(AP-1 0.3t)
	アスファルトルーフィング・アルミニウム板		鉛板 25mm(AP-1 0.3t)
	アスファルトルーフィング・ステンレス		鉛板 20mm(AP-2 0.5t)

保温単価(A):	数量(Q):	塗装・防食等単価1(P):	塗装・防食等単価2(P):
1,960		636	1,673

次材料(O) 閉じる(C) キャンセル ヘルプ(H)

ダクトの板厚・保温・塗装等を自動計算します。

管材の種類や口径だけでなく流体や施工区分、保温材や保温厚などを選択することで、管材の単価や配管工費はもとより、保温単価や塗装・防食単価を算出します。

さらに、全ての選択を1画面にまとめたことによって、同じ材料の口径違いなども、次々に入力することが可能です。

ダクト・チャンバー入力				
形状(S) ☒ 矩形ダクト(Q) ☐ 円形ダクト(Y) ☐ チャンバー(C)	サイズ(Z)[mm] 400 500 口径/開口部(Q) 	ダクト材質(D) 矩形ダクト(重鉛鉄板) 矩形ダクト(ステンレス)	流体(R) 給気 還気 SA RA OA EA SM 排煙 排気	施工区分(M) 屋内露出 屋外露出 屋内隠蔽 機械室
用途(V) 一般 厨房 排煙				
保温材(N) (なし) グラスウール保温板2号24K グラスウール保温板2号32K グラスウール化粧波保温板40K グラスウール化粧波保温板2号40K グラスウール化粧波保温板40K グラスウール保温板2号40K ロックウールフェルト0.007mm ロックウールフェルト0.02mm ロックウールフェルトALK0.007μ ロックウール化粧保温帯1号 ロックウール保温帯1号 ロックウール保温板1号 ロックウール保温板2号	保温仕上材(Q) ビニル被覆電甲金網 アルミガラスクロス アルミガラスクロス粘着テープ アルミニウム板 カラー重鉛鉄板 ガラスクロス ステンレス鋼板 重鉛鉄板 電甲金網	保温厚(T) 25mm 40mm 50mm	塗装・防食・その他(P) (なし) 錆止1回OP2回(裸) 目止1回OP2回(綿布上25mm) 目止1回OP2回(綿布上50mm) ウォッシュプライマー1回OP2回(ラッキンク上25mm) ウォッシュプライマー1回OP2回(ラッキンク上50mm) ソフトカムAP-1 0.3mm(裸面) ソフトカムAP-2 0.5mm(裸面) ソフトカムAP-3 1.0mm(裸面) ソフトカムAP-1 0.3mm(25mm) ソフトカムAP-2 0.5mm(25mm) ソフトカムAP-3 1.0mm(25mm) ソフトカムAP-1 0.3mm(50mm) ソフトカムAP-2 0.5mm(50mm) ソフトカムAP-3 1.0mm(50mm)	
保温単価(A) 6,490 保温等周長(B) 1.80 数量(Q) 120	塗装・防食等単価1(Q) 1,840 板厚(C) 0.6t	塗装・防食等単価2(Q) 1,680 補給率(K) 1.000		
次材料(Q) 閉じる(Q) キャンセル ヘルプ(H)				

多彩な入力方法 — マスタからの一括入力

材料マスタを参照して、一括で材料を入力する

番号	名称	仕様	施工区分	計算式
1	排水用硬質塩化ビニル管(黒)	40A	屋内隠蔽	
2	排水用硬質塩化ビニル管(黒)	50A	屋内隠蔽	
3	排水用硬質塩化ビニル管(黒)	80A	屋内露出	
4	同上継手材			!TU
5	同上支持材			!SI
6	排水用硬質塩化ビニル管(黒)	100A	屋内隠蔽	
7	同上継手材			!TU
8	同上支持材			!SI

コード	呼出コード	名称	仕様	施工区分	単位	単価1	原価1	歩掛
1		排水用鉄鉄直管	50* 400		本	2,480	2,480	0
2		排水用鉄鉄直管	50* 600		本	2,920	2,920	0
3		排水用鉄鉄直管	50*1000		本	3,480	3,480	0
4		排水用鉄鉄直管	50*1600		本	4,900	4,900	0
5		排水用鉄鉄直管	75* 300		本	2,640	2,640	0
6		排水用鉄鉄直管	75* 400		本	2,640	2,640	0
7		排水用鉄鉄直管	75* 600		本	3,080	3,080	0
8		排水用鉄鉄直管	75*1000		本	3,650	3,650	0
9		排水用鉄鉄直管	75*1600		本	5,060	5,060	0

材料マスタを開くことにより、一括入力することが可能です。
選択方法は、Windows の基本操作に準じています。

- ◎ [Ctrl] を押しながらクリック
→ → → これとこれとこれ
- ◎ [Shift] を押しながらクリック
→ → → ここからここまで
- ◎ ドラッグ
→ → → ここからここまで

材料マスタを1画面に表示させ、撤去工事等の指定や施工区分も一緒に設定し、入力する機能

大分類をクリックするとその中分類が自動的に表示され、材料明細まで自動連動で呼び出すことが可能ですの入力効果は200%です。

The 'Material List Input' window is divided into several sections:

- 大分類 (A):** A list of major categories such as '管 (管)', '井 (井)', '架橋 (架橋)', etc.
- 中分類 (B):** A list of sub-categories that appear when a major category is selected.
- 材料 (C):** A list of materials with their specifications, including '名称' (Name), '仕様' (Specification), and '数量' (Quantity).
- 数量 (D):** A dialog box for entering the quantity of a selected material.

支給品や撤去工事等も工事区分も設定することが可能です。

また、工事区分を指定した時に、歩掛の率変更も自動計算することができます

	名称	歩掛率	付属品要/不要
1	御支給品	1.000	要
2	撤去工事	0.300	不要
3	撤去・再取付	1.500	不要
4	移設工事	1.500	不要
5	別途工事	0.000	不要
6		1.000	不要
7		1.000	不要
8		1.000	不要
9		1.000	不要

材料を入力しながら、数量も入力することが可能です。

入力方法は、キーボードと画面入力の2通りがあります。

多彩な入力方法 — コード番号による入力 & ダイレクト入力

ユーザーが材料ごとに自由なコードを付け、キーボード入力だけで膨大な材料マスタから材料を呼び出す機能

名称	仕様	施工区分	単価
吸込口 (GVS)	100x 100mm		3,420
吸込口 (GVS)	100x 200mm		3,420
吸込口 (GVS)	100x 300mm		4,270
吸込口 (GVS)	100x 400mm		4,900
吸込口 (GVS)	100x 500mm		5,580
吸込口 (GVS)	200x 200mm		4,380
吸込口 (GVS)	200x 300mm		5,300
吸込口 (GVS)	200x 400mm		6,440

呼び出しコード欄にキーボードか画面ボタンでコードを入力するだけで該当する材料を検索表示することが可能です。

呼び出しコードは、材料の数量と一緒に連続入力することが可能ですので手製の拾出し表に呼び出しコードを記載しておくことにより、キーボードからの連続入力が可能です。

材料マスタに無く、めったに使用しない材料は、ワープロ感覚でダイレクト入力

見積データ 材料

名称(N): 硬質塩化ビニル管

仕様(I): VP 50A

施工区分(M): 屋内隠蔽

単位(U): m

数量(Q):

単価(P):

原価(C):

数量検討率(F): 1.000

単価検討率(E): 1.000

分類コード(A):

歩掛(W):

備考(Q):

複合単価/パラメータ計算式(D) >>

材料マスタに関係なく、ワープロ感覚で材料を連続入力することが可能ですので修理見積や簡単な見積作成には威力を発揮します。

ダイレクト入力した材料を、材料マスタへ登録することも可能です。

一度入力した文字は、自動的に履歴へと登録されますので、下向き▽をクリックするだけで再利用することが可能です。

エクセルからの貼り付け機能

エクセルのデータを明細書へ貼り付ける機能

資材メーカーや外注業者等からエクセルやテキスト・CSVファイル等で受け取ったデータから明細書へデータを貼り付けることが可能です。

The screenshot displays the '見積TOOL' (Estimate Tool) application window. The '挿入' (Insert) menu is active, showing options for pasting data from Excel, Text, or CSV files. A data table is visible, listing items with their specifications and quantities. An Excel window is overlaid, showing the same data being pasted into a spreadsheet.

番号	名称	仕様	施工区分	原数量	単位	標準単価	標準金額
1	ヒートポンプマルチハッケーター	PAC-1-R1					
2	ダイキエアコンビル用マルチFXYCJ56KA	カセット2方向(ドレンポン)		8	台	332,000	2,656,000
3		冷房能力 5.6Kw					
4		暖房能力 6.3Kw					

Microsoft Excel - Book1

1	2	3	4	5	6	7
1	ヒートポンプマルチハッケーター	PAC-1-R1				
2	ダイキエアコンビル用マルチFXYCJ56KA	カセット2方向(ドレンポン付)		8 台	332,000	
3		冷房能力 5.6Kw				
4		暖房能力 6.3Kw				
5		室内ファン電動機 20Kw				
6		電源 単相 200V50HZ				

合計=332008

設備BOX・見積TOOLの持つ自由自在な編集機能をピックアップしてご紹介いたします。

◇ 自由な場所へ挿入できるアイテム

◎ 空行・特記事項

コメント文などを入力することが可能です。

◎ 中間計

ブロックブロックの中間計を入力することが可能です。

◎ 小計

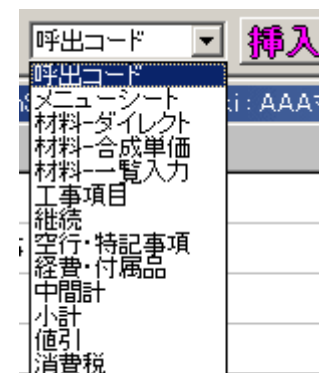
材料小計などを入力することが可能です。（自動発生させることも可能）

◎ 消費税

消費税を入力することが可能です。（税率の設定も可能）

◎ 値引

値引きを入力することが可能です。



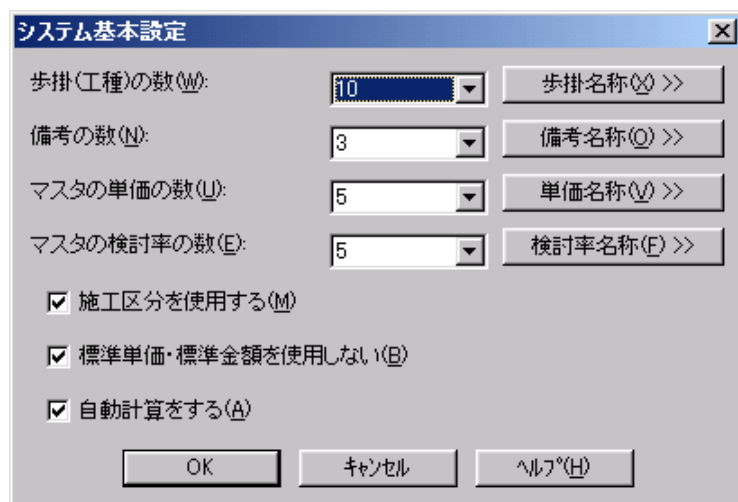
※ 全ての挿入できるアイテムの文字は、変更可能です。

◇ 思った通りの見積書を作成するための編集機能

見積階層間のデータ移動 ・ 総括表の手直し機能（マンションなどの戸計算可能） ・ 複数見積の合成機能
パターン見積の簡単作成機能 ・ 提出金額の頭合わせ機能 ・ 提出金額の利益率からの逆算機能 ・ 工事項目の頭合せ機能
単価の自動調整機能 ・ 数量の自動調整機能 ・ 経費及材料の端数調整機能 ・ 端数調整桁数設定機能
端数調整方法設定機能 ・ 見積単価桁数調整機能 ・ 工事項目の頭記号設定機能 ・ 見積単価小数桁数設定
見積単価小数桁数設定 ・ 歩掛の桁数設定 ・ 複数材料の一括呼び出し機能 ・ 不要材料一括削除機能 ・ 数量の一括削除機能
呼び出しコードによる材料呼び出し機能 ・ 同上文字（〃）の自由設定機能 ・ マスタの複数化機能 ・ テキスト出力機能
原価表などの出力アイテム自由設定機能

ユーザー特有な多くの設定の中から快適な見積作成に欠かせないものをピックアップしてご紹介いたします。

◇ システム基本設定



「システム基本設定」では、実際に使用する歩掛や単価等の数を設定する事が出来ます。

この機能を設定する事により、不要な機能を隠す事が可能です。

異なる工種歩掛	10種類
備考	3種類
材料マスタ単価	5種類
提出先毎に設定可能な提出検討率	5種類

- ☐ 施工区分を使用する
通常、施工区分（隠蔽・露出等）を設定して見積書を作成しますが、簡易的な見積書のみを作成する場合に表示させなくする事が出来ます。
- ☐ 標準単価・標準金額を使用しない
見積書の作成方法として、大きく分けて「全て原価で見積書を作成し、利益率や利益金額を見て提出金額を算出する。」場合と「A材は、定価を入力し、B材は原価を入力し利益率や利益金額を見て提出金額を算出する。」とがあります。
この機能は、そのような作成方法を設定します。
- ☐ 自動計算をする
見積書の縦計や付属品・工費等の計算を自動的に行うことが出来ます。

ユーザー特有の設定

◇ 小数桁数設定

小数桁数設定

見積単価(E)

- ☒ 小数なし(N)
- ☐ 小数点以下2桁(Q)

マスタ単価(M)

- ☐ 小数なし(N)
- ☒ 小数点以下2桁(Q)

見積数量(Q)

- ☒ 小数なし(N)
- ☐ 小数点以下1桁(I)
- ☐ 小数点以下2桁(Q)
- ☐ 小数点以下3桁(Q)
- ☐ 小数点以下4桁(Q)

歩掛(工量)(W)

- ☐ 小数なし(N)
- ☐ 小数点以下1桁(I)
- ☐ 小数点以下2桁(Q)
- ☐ 小数点以下3桁(Q)
- ☒ 小数点以下4桁(Q)

OK

キャンセル

ヘルプ(H)

「小数桁数設定」では、見積単価・材料マスタ単価や見積数量や歩掛等の小数桁数を個別に設定しておくことができます。

この機能を設定する事により、見積書毎に見積数量の小数桁数を変えたりする事が可能です。
また、歩掛を工量扱いにする事も可能です。

◇ 丸め方法設定

丸め方法設定

数量(Q)

- ☒ 四捨五入(R)
- ☐ 切り捨て(C)
- ☐ 切り上げ(U)
- ☐ 切り下げ(D)

単価(N)

- ☐ 四捨五入(R)
- ☐ 切り捨て(C)
- ☒ 切り上げ(U)
- ☐ 切り下げ(D)

金額(P)

- ☐ 四捨五入(R)
- ☐ 切り捨て(C)
- ☒ 切り上げ(U)
- ☐ 切り下げ(D)

OK

キャンセル

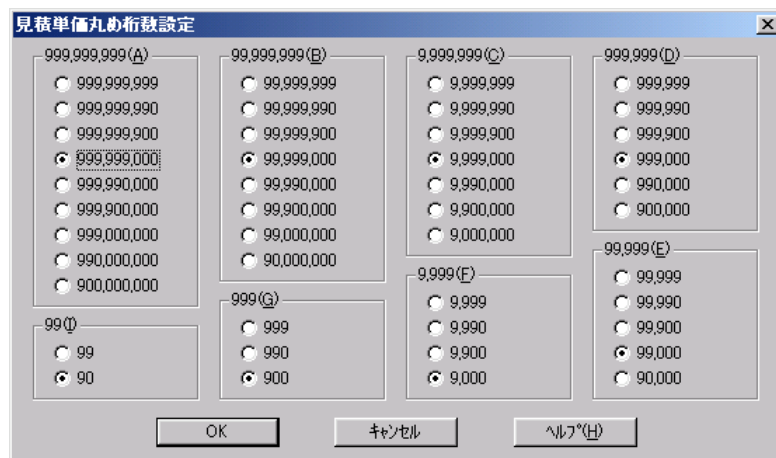
ヘルプ(H)

「丸め方法設定」では、提出見積書の数量や単価・金額を端数調整する際の丸め方法を個別に設定することができます。

この機能を設定する事により、民間の端数調整は「切り上げ」にし役所は、「切り捨て」にする等の設定が可能です。

ユーザー特有の設定

◇ 見積単価丸め桁数設定



見積単価丸め桁数設定

999,999,999(A) 99,999,999(B) 9,999,999(C) 999,999(D)

999,999,999
999,999,990
999,999,900
999,999,000
999,990,000
999,900,000
999,000,000
990,000,000
900,000,000

999,999,999
99,999,990
99,999,900
99,999,000
99,990,000
99,900,000
99,000,000
90,000,000

9,999,999
9,999,990
9,999,900
9,999,000
9,990,000
9,900,000
9,000,000

999,999
999,990
999,900
999,000
990,000
900,000

999,999(E)

99,999
99,990
99,900
99,000
90,000

999(F)

999
990
900

99(G)

99
990
900

9,999(H)

9,999
9,990
9,900
9,000

OK キャンセル ヘルプ(H)

「見積単価丸め桁数設定」では、見積単価や見積金額を丸める際、桁数ごとに下何桁を丸めるかを設定することが出来ます。
多くのシステムでは、丸め桁数のみの設定しかできないことが多く、総桁数毎に丸め桁数を設定できる画期的なものです。

この機能を設定する事により、見積金額の大大小小にとらわれず、正確な見積書を作成する事が可能です。

◇ 工事項目番号設定



工事項目番号設定

2階層

1. 変更(A)

3階層

1階層目 1. 変更(B)

2階層目 2-1. 変更(C)

4階層

1階層目 1. 変更(D)

2階層目 2-1. 変更(E)

3階層目 3-2-1. 変更(F)

5階層

1階層目 1. 変更(G)

2階層目 2-1. 変更(H)

3階層目 3-2-1. 変更(I)

4階層目 4-3-2-1. 変更(J)

6階層以上

1階層目 1. 変更(K)

2階層目 2-1. 変更(L)

3階層目 3-2-1. 変更(M)

4階層目 4-3-2-1. 変更(N)

5階層目以上 5-4-3-2-1. 変更(O)

OK キャンセル ヘルプ(H)

「工事項目番号設定」は、見積書の階層の深さごとに工事項目の頭の番号を設定することが出来ます。

左の設定の場合、見積書の階層が2階層のときは工事項目の先頭に「カッコ付きの数字」をつける。

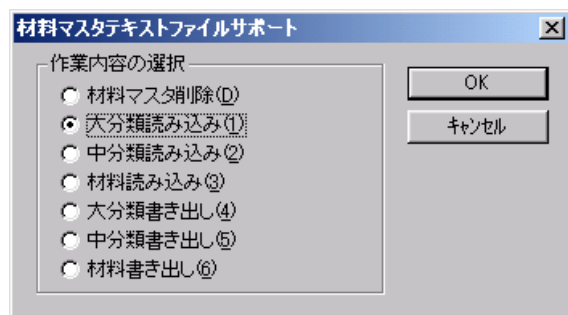
見積書の階層が3階層のときには1階層目の工事項目にアルファベット、2階層目にカッコ付きの数字といった形です。

また、カッコやピリオドなどを自由につけたりはずしたりすることができます。

この機能を設定する事により、得意先から書式等に指定がある見積書にも対応することが可能です。

エクセルからのマスタデータ入出力機能

各種マスタデータをエクセルやテキスト・CSVファイル等に入出力します。



材料メーカーや現在使用中の見積ソフト等からエクセルやテキスト・CSVファイルなどへ変換したデータがあればフィールドの調整だけで取り込むことができます。

また、設備BOX・見積TOOLからテキストファイル出力することも可能です。

【 テキストファイル入出力できるマスタ 】

◎ 材料マスタ（大分類・中分類・明細）

◎ 経費・付属品マスタ

◎ 工事項目マスタ

◎ 系統マスタ1～系統マスタ5

1	2	3	4	5
#大分類コード	名称	#中分類コード	名称	単価
1	管 隔 係 (変更不可)			
2	弁 隔 係 (変更不可)			
3	配管ポリエチレン管			
4	排水用誘続管			
5	排水用集合管継手			
6	産業設備			
7	圧力計・温度計			
8	瞬間流量計			
9	ポンプ類			
10	自動制御機器			
11	計装工事			
12	ボイラー			
13	タンク類			
14	冷凍機			
15	冷凍水機			
16	チリングユニット			
17	空気熱源ユニットポンプユニット			
18	冷却塔			
19	空調機			
20	空気調和機器(エアコン)			
21	二次側電気工事			
22	配管分岐 (変更不可)			
23	チャンバー (変更不可)			
24	パイラダクト (変更不可)			
25	吸込口			
26	吸込口			
27	パネル型排煙口・ガタリ			
28	ダンパー			
29	バルブ取付金具(キヤンパス継手)			
30	消音器			
31	スリット			
32	クランプ金網			
33	ステンレス製フード			
34	ウェザーカバー			
35	パイプフード			

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
#大分類コード	#中分類コード	材料コード	呼出コード	名称	仕様	施工区分	単位	単価1	単価2	単価3
1	2	3	1	1	架橋ポリエチレン管	10 mm	床・天井隠蔽	m	130	130
2	3	1	2	架橋ポリエチレン管	13 mm	床・天井隠蔽	m	200	200	200
3	3	1	3	架橋ポリエチレン管	16 mm	床・天井隠蔽	m	280	280	280
4	3	1	4	架橋ポリエチレン管	20 mm	床・天井隠蔽	m	310	310	310
5	3	2	1	架橋ポリエチレン管	10 mm	床さや管	m	130	130	130
6	3	2	2	架橋ポリエチレン管	13 mm	床さや管	m	200	200	200
7	3	2	3	架橋ポリエチレン管	16 mm	床さや管	m	280	280	280
8	3	2	4	架橋ポリエチレン管	20 mm	床さや管	m	310	310	310
9	3	3	1	架橋ポリエチレン管	10 mm	スラブ埋設	m	130	130	130
10	3	3	2	架橋ポリエチレン管	13 mm	スラブ埋設	m	200	200	200
11	3	3	3	架橋ポリエチレン管	16 mm	スラブ埋設	m	280	280	280
12	3	3	4	架橋ポリエチレン管	20 mm	スラブ埋設	m	310	310	310
13	3	4	1	C D 管	16 mm		m	90	90	90
14	3	4	2	C D 管	22 mm		m	140	140	140
15	3	4	3	C D 管	28 mm		m	190	190	190
16	3	4	4	C D 管	36 mm		m	290	290	290
17	3	5	1	ヘッダー 3連	10 mm* 3 (回転型)		組	4,940	4,940	4,940
18	3	5	2	ヘッダー 4連	10 mm* 4 (回転型)		組	6,180	6,180	6,180
19	3	5	3	ヘッダー 5連	10 mm* 5 (回転型)		組	7,420	7,420	7,420
20	3	5	4	ヘッダー 6連	10 mm* 6 (回転型)		組	8,650	8,650	8,650
21	3	5	5	ヘッダー 7連	10 mm* 7 (回転型)		組	9,820	9,820	9,820
22	3	5	6	ヘッダー 8連	10 mm* 8 (回転型)		組	11,290	11,290	11,290
23	3	5	7	ヘッダー 9連	10 mm* 9 (回転型)		組	12,530	12,530	12,530
24	3	5	8	ヘッダー 10連	10 mm* 10 (回転型)		組	14,050	14,050	14,050
25	3	5	9	ヘッダー 3連	13 mm* 3 (回転型)		組	4,940	4,940	4,940
26	3	5	10	ヘッダー 4連	13 mm* 4 (回転型)		組	6,180	6,180	6,180
27	3	5	11	ヘッダー 5連	13 mm* 5 (回転型)		組	7,420	7,420	7,420
28	3	5	12	ヘッダー 6連	13 mm* 6 (回転型)		組	8,650	8,650	8,650
29	3	5	13	ヘッダー 7連	13 mm* 7 (回転型)		組	9,820	9,820	9,820
30	3	5	14	ヘッダー 8連	13 mm* 8 (回転型)		組	11,290	11,290	11,290
31	3	5	15	ヘッダー 9連	13 mm* 9 (回転型)		組	12,530	12,530	12,530
32	3	5	16	ヘッダー 10連	13 mm* 10 (回転型)		組	14,050	14,050	14,050
33	3	5	17	ヘッダー 3連	16 mm* 3 (回転型)		組	0	0	0
34	3	5	18	ヘッダー 4連	16 mm* 4 (回転型)		組	0	0	0
35	3	5	19	ヘッダー 5連	16 mm* 5 (回転型)		組	0	0	0

見積原価比較機能

見積原価だけでなく実行原価もシミュレーション可能。

予算原価

利益金額

利益率

* 分類名称・経費名称	見積原価	見積金額	予算率(見積原価)	予算原価	利益金額	利益率	原工
+ 1管 関 係 (変更不可)	¥2,646,086	¥2,646,086	0.00%	¥0	¥2,646,086	100.00%	
+ 2井 関 係 (変更不可)	¥387,400	¥426,627	0.00%	¥0	¥426,627	100.00%	
計	¥3,033,486	¥3,072,713	0.00%	¥0	¥3,072,713	100.00%	
+ 14冷凍機	¥13,330	¥13,998	0.00%	¥0	¥13,998	100.00%	
+ 16チリングユニット	¥20,630	¥22,000	0.00%	¥0	¥22,000	100.00%	
+ 17空気熱源ヒートポンプユニット	¥56,170	¥59,000	0.00%	¥0	¥59,000	100.00%	
+ 19空気調和機設備(エアコン)	¥103,740	¥108,937	0.00%	¥0	¥108,937	100.00%	
+ 21矩形ダクト (変更不可)	¥825,010	¥869,000	0.00%	¥0	¥869,000	100.00%	
+ 22チャンバー (変更不可)	¥148,800	¥156,000	0.00%	¥0	¥156,000	100.00%	
+ 24吹出口類	¥471,000	¥495,000	0.00%	¥0	¥495,000	100.00%	
+ 25吸込口類	¥535,000	¥586,600	0.00%	¥0	¥586,600	100.00%	
+ 34パイプフード	¥1,237,820	¥1,361,733	0.00%	¥0	¥1,361,733	100.00%	
+ 35排煙口	¥177,000	¥195,000	0.00%	¥0	¥195,000	100.00%	
+ 37衛生器具設備	¥2,999,774	¥3,312,138	0.00%	¥0	¥3,312,138	100.00%	
+ 45消火設備	¥1,200,000	¥1,260,000	0.00%	¥0	¥1,260,000	100.00%	
+ 500◆ ダイキン製品 50Hz ◆	¥3,703,760	¥5,292,180	0.00%	¥0	¥5,292,180	100.00%	
+ 700◆ ダイキン製品 付属品 ◆	¥518,660	¥615,455	0.00%	¥0	¥615,455	100.00%	
同上仕手材	1,134,761	1,134,518	0.00%	0	1,134,518	100.00%	
同上接合材	139,160	138,135	0.00%	0	138,135	100.00%	
同上支持材	265,890	266,798	0.00%	0	266,798	100.00%	
配管工事	4,724,346	4,724,000	0.00%	0	4,724,000	100.00%	
保温工事	5,910,180	5,910,000	0.00%	0	5,910,000	100.00%	
塗装工事	750,835	750,000	0.00%	0	750,000	100.00%	
消耗品及雑材料	1,145,650	1,145,795	0.00%	0	1,145,795	100.00%	

見積原価はあくまでも「見積書作成時に想定した原価」です。実際に工事を受注して、施工する段階では、より綿密な実行原価を把握しなければなりません。

実行原価を把握するためには、仕入業者との交渉や下請け業者の選定など様々な業務が必要となります。

そのような業務をスムーズに運ぶための資料として、また、予算原価を入力することにより利益金額や率が変化するので、シミュレーション機能としても使用できます。



複合単価作成機能

個別単価で作成した見積書を複合単価へ一発変換！

見積BOX

新規 既存 上書保存 名付保存 情報 タブメニュー 挿入 削除 項目 材料 経費 系統 機能 開く 見積 拾い 計算 拾い 印刷

見積BOX

新規 既存 上書保存 名付保存 情報 タブメニュー 挿入 削除 項目 材料 経費 系統 機能 開く 見積 拾い 計算 拾い 印刷

番号	名称	仕様	施工区分	原数量	単位	標準単価	標準金額	歩掛
1	水道用硬質塩化ビニル管	SGP-VB 20A	屋外	47	m	430	20,210	
2	水道用硬質塩化ビニル管	SGP-VB 25A	屋内一般	17	m	600	10,200	
3	水道用硬質塩化ビニル管	SGP-VB 32A	屋内一般	14	m	800	11,200	
4	水道用硬質塩化ビニル管	SGP-VB 40A	屋外	25	m	925	23,125	
5	水道用硬質塩化ビニル管	SGP-VB 50A	機械室・便所	220	m	1,290	277,200	
6	水道用硬質塩化ビニル管	SGP-VB 65A	機械室・便所	26	m	1,770	46,020	
7	同上 継手			1	式		193,978	
8	同上 継手			1	式		19,398	
9	同上 継手			1	式		38,796	
10	はつり補修費			1	式		31,807	
11	材料費			1	式		53,694	
12	配管工費			1	式		1,306,950	
13	小計						¥2,031,808	

クリックするだけで変換します。

見積BOX

新規 既存 上書保存 名付保存 情報 タブメニュー 挿入 削除 項目 材料 経費 系統 機能 開く 見積 拾い 計算 拾い 印刷

見積BOX

新規 既存 上書保存 名付保存 情報 タブメニュー 挿入 削除 項目 材料 経費 系統 機能 開く 見積 拾い 計算 拾い 印刷

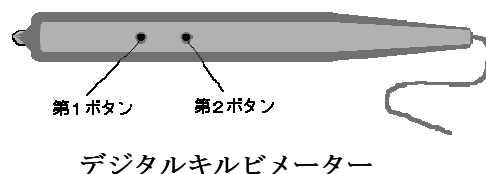
番号	名称	仕様	施工区分	原数量	単位	標準単価	標準金額	見積
1	水道用硬質塩化ビニル管	SGP-VB 20A	屋外	47	m	2,517	118,299	
2	水道用硬質塩化ビニル管	SGP-VB 25A	屋内一般	17	m	3,816	64,872	
3	水道用硬質塩化ビニル管	SGP-VB 32A	屋内一般	14	m	4,778	66,892	
4	水道用硬質塩化ビニル管	SGP-VB 40A	屋外	25	m	4,635	115,875	
5	水道用硬質塩化ビニル管	SGP-VB 50A	機械室・便所	220	m	8,301	1,826,220	
6	水道用硬質塩化ビニル管	SGP-VB 65A	機械室・便所	26	m	10,965	285,090	
7	小計						¥2,477,248	

複合単価で作成する見積書も、まずは個別単価で作成します。これは、材料費と労務費を的確に把握するためです。

個別単価での作成が終了したら、クリックするだけで複合単価の見積書に変換します。

これで、提出は複合単価で、社内帳票は個別単価でといった使い方が可能となります。

会社でも現場でも自宅でも！どこでも図面から拾い出すことを可能にした拾い出し機能



デジタルキルビメータはデジタイザーやスキャナに比べ、ローコスト・省スペース持ち運び自由などの点で優れています。

図面から積算数量を直接拾い出し、自動入力することができるので、見積にかかる時間を大幅に削減します。また、拾い根拠も同時作成します。

「拾い出し機能」には「メニューシート」が標準装備されていますので、「電線と電線管を一緒に選択、長さを拾ってドンドン入力」が可能です。

第1ボタンで長さを拾い、第2ボタンで個数を拾い出すことが可能です。

◎ 本数

電線などのように複数本を同時に拾い出すことが可能です。

◎ 倍数

1階～3階までは同じ拾いの場合、拾い数値に倍数をかけることが可能です。

◎ 立上長さ

立面の長さは、数値入力することが可能です。

◎ 拾い根拠

拾い出した根拠が区間ごとに表示されます。立上長さは()付の数値で表示されます。

◎ 補給率

現場でのロスなどを考えて、率により補給率を付加することが可能です。

◎ 余長

電線と電線管を同時に拾い出すことができ、電線管から電線を引出す余長を付加することが可能です。

◎ 余長箇所

余長を付加する箇所を指定することが可能です。

◎ 定尺

電線管などを本数で拾い出しことが可能です。

◎ 系統1～系統5

拾い出しの根拠を取るため、盤名や回路番号等を設定し、後で拾い出し根拠表を作成することが可能です。



拾い出し デジタルキルビメータ

数量
① 長さ(L): 88.10 [m]
② 個数(C): 2
③ 増点(T): 12

本数(C): 2
倍数(C): 1
立上長さ(L): 1.50
スケール(C): 1/100

拾い根拠:
9.10+13.80+9.10+3.00+0.50+0.50+2.60+2.10

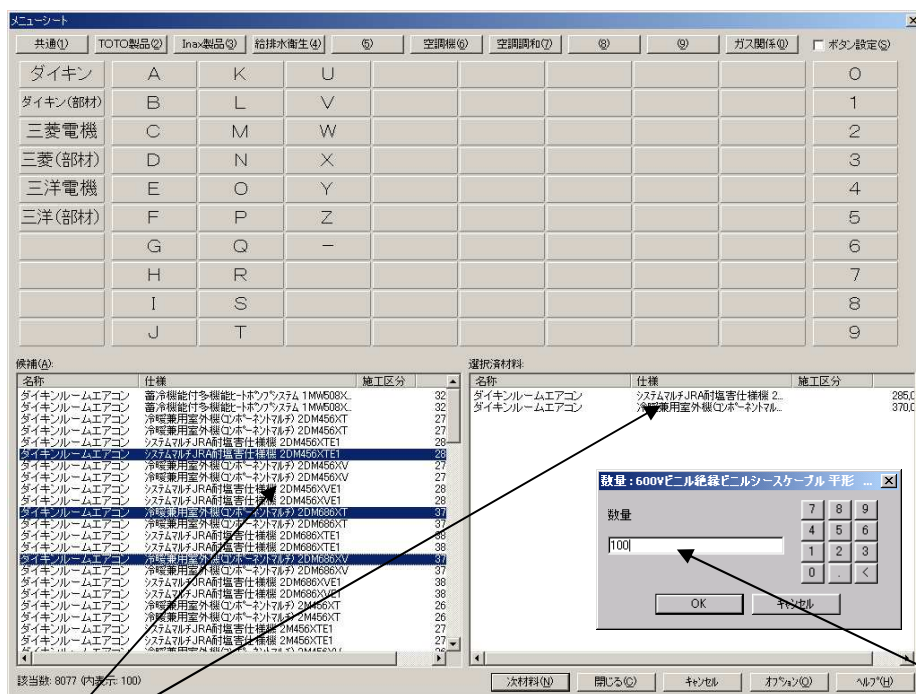
補給率(C): 1.1
余長(C): 1.2 [m]
余長箇所(C): 2
定尺(L): [m]

系統1: [] 入力
系統2: [] 入力
系統3: [] 入力
系統4: [] 入力
系統5: [] 入力

メニューシート

膨大な材料マスタよりボタンをクリックするだけで、該当する材料を自動表示する機能

「機器と付属品を一緒に選択したい」とか「材料を選ぶたびに探すのは面倒」こんなご要望に応える機能です。
「メニューシート」を使えば、キーワードとなるボタンをクリックするだけで材料を絞込みます。



10シート×100ボタン=1,000ボタンを実装し、ボタンは簡単に自由にカスタマイズすることが可能です。

また、膨大な機器などは、製品の型番を設定することにより、見積に使用する機器型番のボタンをクリックするだけで、必要な機器を選び出すことが可能です。

その時に、選択した機器のオプション品を自動表示させることも可能です。(オプション品設定時)

選択した材料の数量を入力しながらの選択も可能です。

選択材料は追加され、確認しながら次の材料を一度に選択可能です。

テンプレート機能

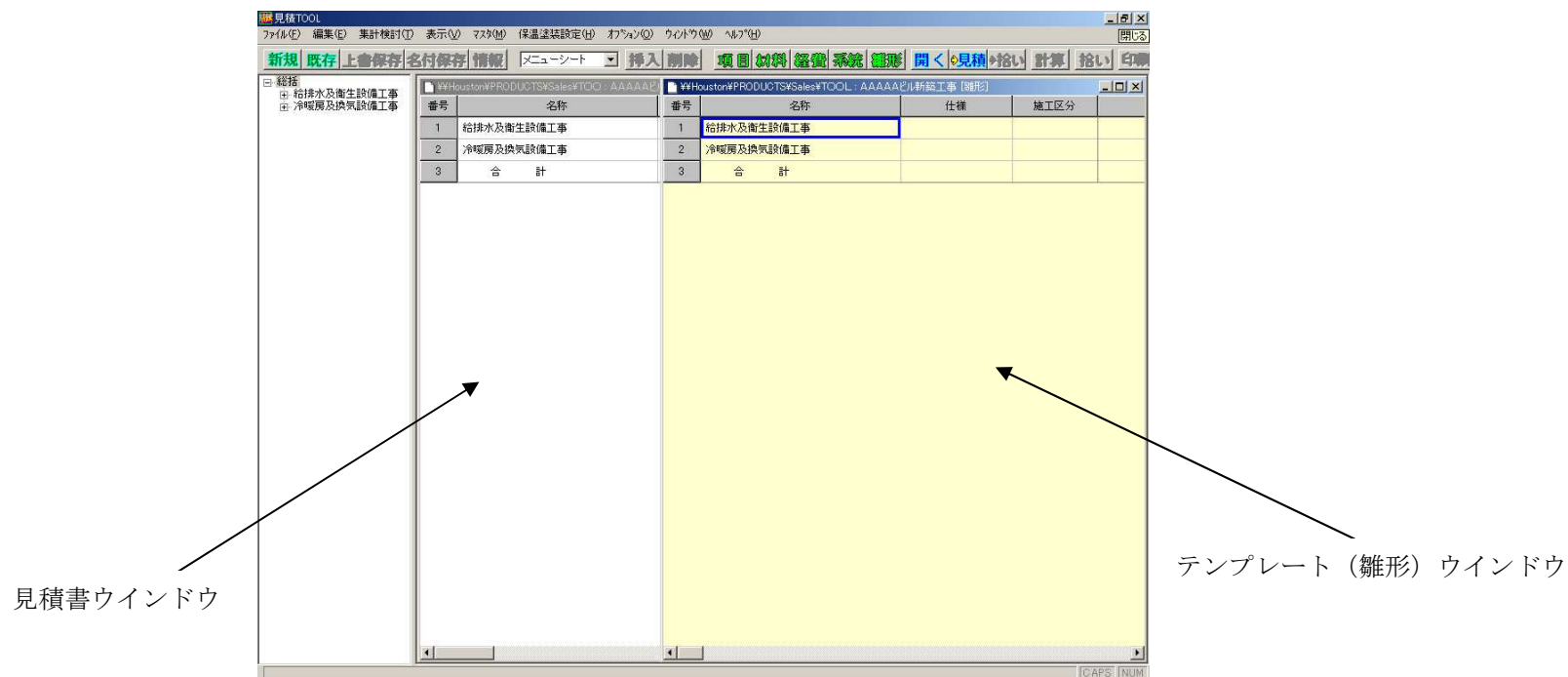
「テンプレート」でスピード見積機能

例えば・・・・・・・・

木造住宅・マンション建設・概算見積など、いつも同じ工事項目・同じ材料を見積書に入れるのはとても面倒なもの。

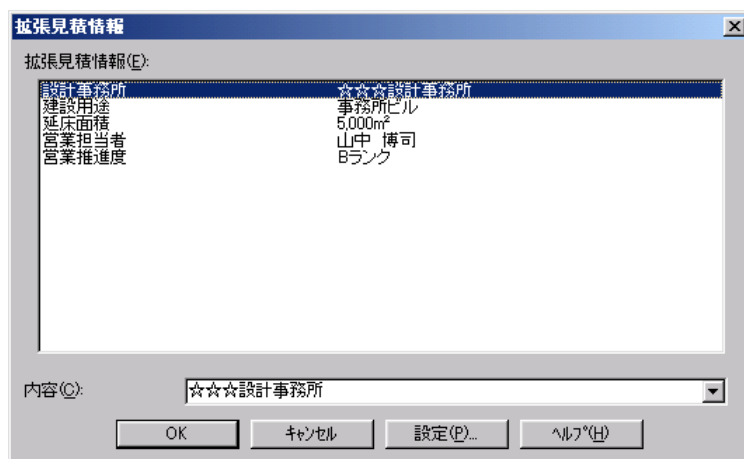
そこで...

- ◎ あらかじめテンプレート（雛型）を作っておき、そのテンプレートをマスタとして開くことで、項目と材料を一気に入力。あとは数量を入れるだけ。
- ◎ 時間の短縮だけでなく、項目や材料の入れ忘れを防止。
- ◎ 更に「全て選択」「原数量のない材料を削除」など多彩な機能がスピードアップをサポートします。



「 見積情報拡張 」で見積書一括管理

見積書を見積書以上のものとして活用するために、ユーザー独自の情報を自由に登録することが可能です。



拡張見積情報(E):
設計事務所
建設用途
延床面積
営業担当者
営業推進度

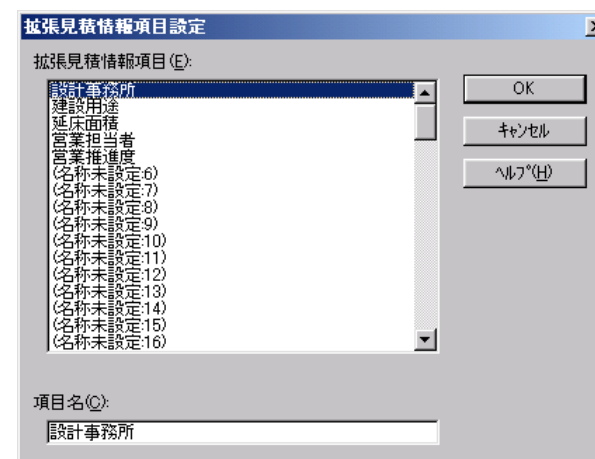
内容(C): ☆☆☆設計事務所

OK キャンセル 設定(P)... ヘルプ(H)

見積書に付随する情報から帳票を作成して現場管理・顧客管理に役立てることが可能です。

テキストファイル出力可能ですので、エクセルなどで営業推進チェック表や得意先ごとの集計表なども作成することが可能です。

見積書を管理・検索しやすいように、見積書の情報を自由に100項目設定することが可能です。

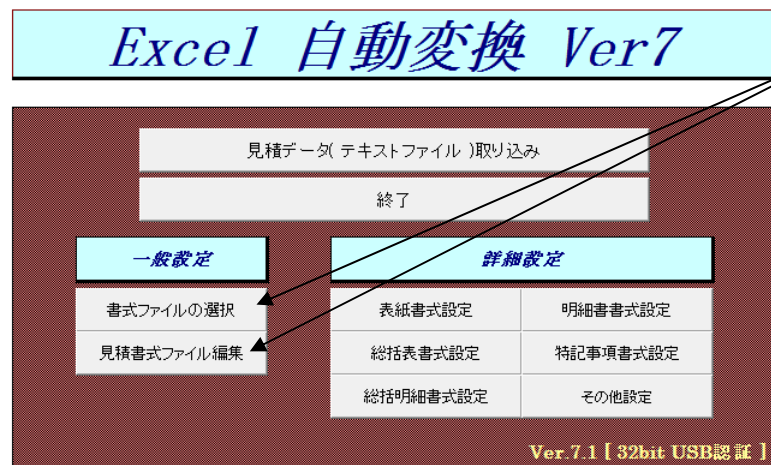


拡張見積情報項目(E):
設計事務所
建設用途
延床面積
営業担当者
営業推進度
(名称未設定6)
(名称未設定7)
(名称未設定8)
(名称未設定9)
(名称未設定10)
(名称未設定11)
(名称未設定12)
(名称未設定13)
(名称未設定14)
(名称未設定15)
(名称未設定16)

項目名(C): 設計事務所

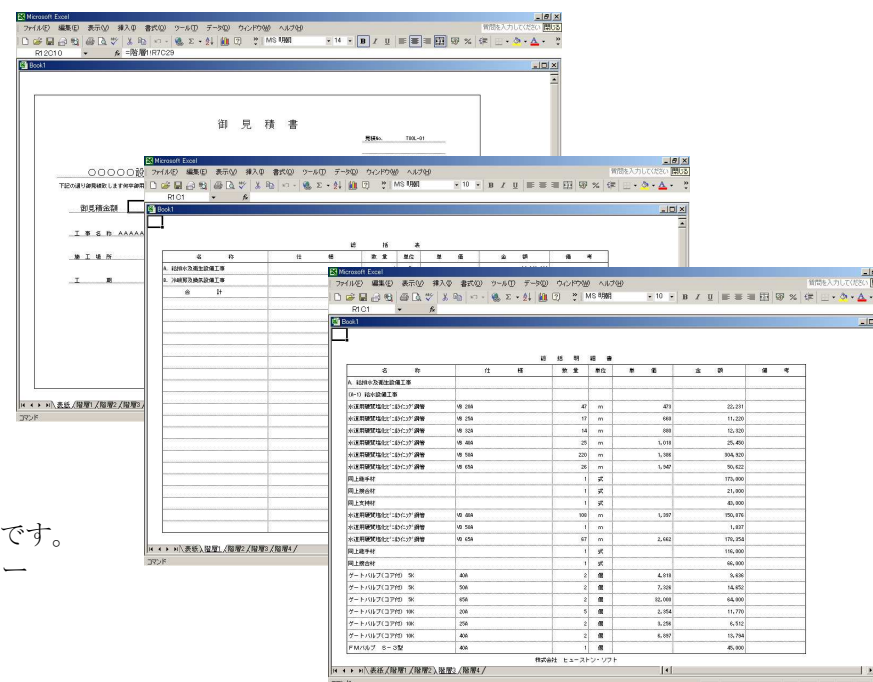
OK キャンセル ヘルプ(H)

設備BOX・見積TOOLの見積データをエクセルへ自動変換！



変換するエクセル書式は、自由に作成する事ができ、登録数にも制限はありません。

変換された見積書は、鑑・総括表・総括明細書・内訳明細書ごとにシートで分かります。



作成した見積書を、エクセルのデータへ自動的に変換することが可能です。変換後は、通常のエクセルデータですので、提出先に「見積BOXシリーズ」が無くてもエクセルがあればデータを読むことができます。

エクセルへ変換する書式には、一部制限事項及び設定事項があります。

対応するエクセルは、Excel-2000 以降となります。

変換された見積書の数量や単価を変更しても、金額や縦計・総額も自動的に計算されます。（付属品・経費等は計算されません。）

「CI-NET LiteS」に対応した入出力機能

CI-NET や CI-NET LiteS に準拠したデータを出力できますので、見積情報の電子化や今後取り入れられると考えられている電子入札に対応することができます。

また、データの出力だけではなく入力も可能ですので、今後、CI-NET が普及するにつれて、これまで煩わしかったデータの再入力をしなくてすむようになります。

建設産業情報化ネットワーク (CI-NET) とは

標準化された方法でコンピュータネットワークを利用し建設生産に関わる様々な企業間の情報交換を実現し、建設産業全体の生産性向上を図ろうとするものです。

CI-NETの検討は建設省、学識経験者、関連団体、推進センター会員企業の協力を得て、建設産業におけるEDI標準の他、建設資機材コード等の電子データ交換のための標準の策定、利用推進、広報・普及活動を行っています。

関連する標準化作業が建設産業情報化推進センターを事務局とする「建設CADデータ交換コンソーシアム」において検討されています。

